



早期全線開通に向けて団結！総決起大会開催

6月15日（土）、九州中央自動車道の全線開通に向けた「九州中央自動車道建設促進西臼杵総決起大会」が、高千穂町武道館で開催されました。

この大会は、西臼杵3町の町長などが令和5年5月に設立した「九州中央自動車道西臼杵建設促進期成会」が主催したもので、西臼杵3町の町長や河野知事のほか、国会議員、県議会議員、九州地方整備局長や地元住民など総勢約1,200人が参加し、沿線住民による意見発表の後、予算の確保・重点配分や事業の推進を積極的に要望していくことなどを決議しました。

九州中央自動車道は、熊本県嘉島町から延岡市までを横断する総延長約95kmの基幹路線で、現在、全体の約43%が開通していますが、宮崎県内の供用率は約34%にとどまり、更なる事業の推進が求められているところです。

西臼杵支庁では今後も、地元の協力をいただきながら管内の用地の先行取得を進め、早期開通に向けて懸命に取り組んでいきます。

令和6年度宮崎県地域づくり顕彰で

五ヶ瀬町の^{あら おどり}荒踊保存会 が 大賞 受賞！

令和6年度宮崎県地域づくり顕彰において、五ヶ瀬町の「^{あら おどり}荒踊保存会」が、最高位となる大賞を受賞しました。

この顕彰は、地域振興に関して特に功績のあった個人や団体を顕彰するもので、5月9日（木）に県庁講堂で行われた授賞式には、荒踊保存会の長田 豊明会長が出席し、河野知事から表彰状を受け取りました。

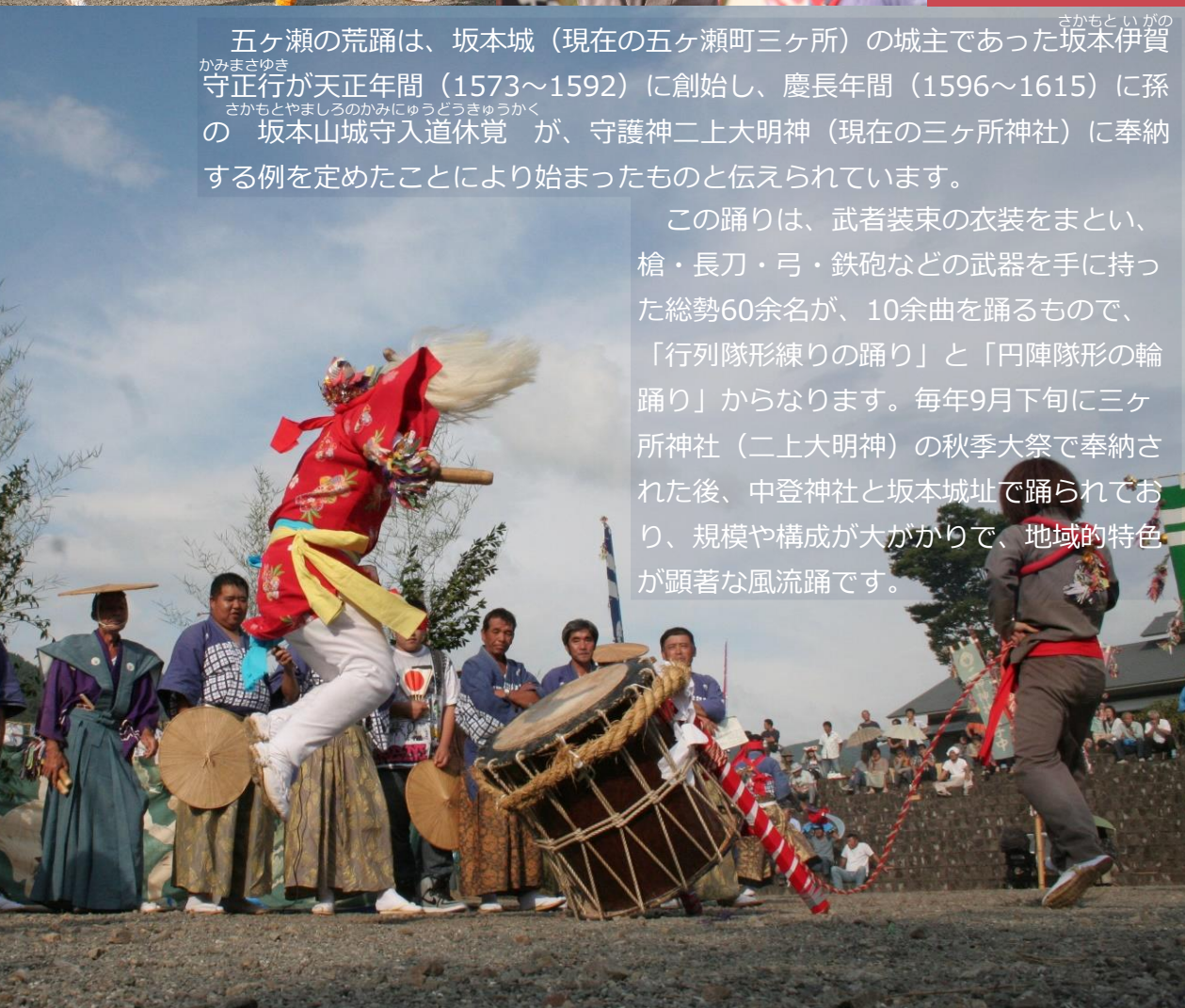
五ヶ瀬の荒踊は、同町の坂本地区に伝わる郷土芸能であり、令和4年11月には、全国で41件の国指定重要無形民俗文化財で構成される「^{ふりゅうおどり}風流踊」の一つとして、「五ヶ瀬の荒踊」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。

荒踊保存会は、その伝統を守り受け継いでいくため、地元小学校の授業の一環として「荒踊継承教室」を行い、運動会の場で披露するなど、地域が一体となって後継者育成や継承活動に取り組んでいます。



五ヶ瀬の荒踊は、坂本城（現在の五ヶ瀬町三ヶ所）の城主であった坂本伊賀^{さかもといがの}守正行が天正年間（1573～1592）に創始し、慶長年間（1596～1615）に孫の^{かみまさゆき}坂本山城守入道休覚^{さかもとやましろのかみにゅうどうきゅうかく}が、守護神二上大明神（現在の三ヶ所神社）に奉納する例を定めたことにより始まったものと伝えられています。

この踊りは、武者装束の衣装をまとい、槍・長刀・弓・鉄砲などの武器を手に持った総勢60余名が、10余曲を踊るもので、「行列隊形練りの踊り」と「円陣隊形の輪踊り」からなります。毎年9月下旬に三ヶ所神社（二上大明神）の秋季大祭で奉納された後、中登神社と坂本城址で踊られており、規模や構成が大がかりで、地域的特色が顕著な風流踊です。



2024年春季学術大会高校生ポスターセッションで

五ヶ瀬中等教育学校の生徒が 会長賞 & 理事長賞を受賞！

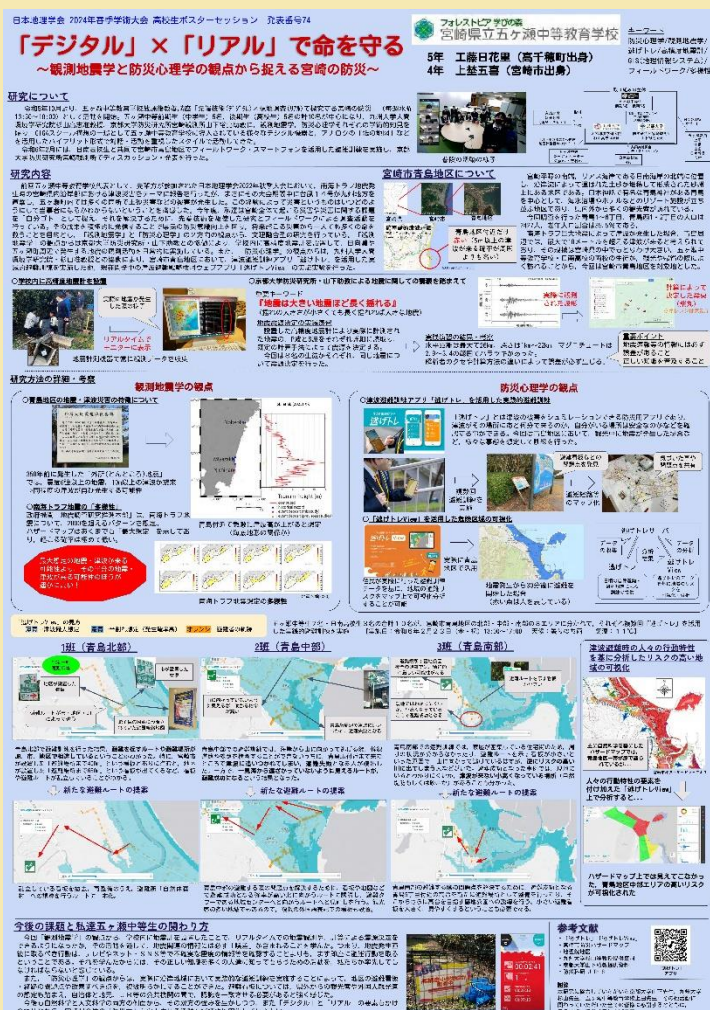
日本地理学会が主催するポスターセッションで、県立五ヶ瀬中等教育学校の生徒が発表した3つの研究すべてが全国上位入賞するという快挙を達成しました！

全国1位である会長賞を受賞したのは、工藤 日花里さん（6年）と、上埜 五喜さん（5年）の「『デジタル』×『リアル』で命を守る～観測地震学と防災心理学の観点から捉える宮崎の防災～」です。2人は、同校で開催される放課後講座で、南海トラフ巨大地震を想定して研究を進め、その成果をポスターにまとめました。

また、全国2位となる理事長賞を、川内 馨さん（6年）と伊藤 陽希さん（6年）の「地域の防災力を向上させる ～宮崎県五ヶ瀬町におけるフィールド調査と地域防災活動～」、中村 栄太さん（6年）の「3Dデータで知る放置林 ～ドローン空撮とGISを活用した学校林の分析～」が、それぞれ受賞しました。

今回の受賞について、担当の上田 聖矢教諭は、「生徒たちが、地域の方々や専門家と協働しながら、様々な先端技術を活用して、地域の課題を『自分ごと』として捉えて研究活動に取り組んだことが評価されたのではないかと話していました。

5名の受賞者のみなさん、おめでとうございます！



会長賞を受賞した工藤 日花里さん（6年）と上埜 五喜さん（5年）のポスター

今年も心を込めて植えました！

なかかわのぼり 高千穂町中川登アート米 田植え

6月22日（土）、高千穂町中川登集落の栃又棚田で、「アート米」田植えがありました。

東日本大震災や口蹄疫といった暗いニュースが続いた時期に、地域から元気になろうと平成23年に始まったこの取組は、今回で14回目となりました。

当日はあいにくの天気にもかかわらず、地域住民や支庁職員のほか、地域を応援する方など100人を超える人が集まり、和やかな雰囲気交流しながら田植を楽しみました。

異なる種類の稲で表現した図柄は、稲の成長に合わせて少しずつ浮かび上がり、9月頃には見頃を迎えます。





総会・懇親会が開催されました！



5月25日(土)に、大阪市で近畿西臼杵郡郷土会の総会・懇親会が開催されました。

近畿西臼杵郡郷土会は、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町の3町出身の近畿地方在住者で作る会で、今回が20回目の開催になります。

当日は、来賓として高千穂町長、西臼杵支庁長、宮崎県大阪事務所長のほか、近畿宮崎県人会、近畿南郷会、関西日之影町人会、雲海酒造株式会社など約60名が参加し、親睦を深めました。

総会では、高千穂町制100周年記念歌「明日への風」の紹介や、ふるさと納税についての説明があった後、懇親会では、高千穂町の農業ドキュメンタリー動画「ここで生きていく」がスクリーンに映し出され、参加者は、故郷の風景に懐かしさを感じながら、西臼杵の焼酎などを片手に、思い出話に花を咲かせていました。

日之影 橋めぐりガイドブック



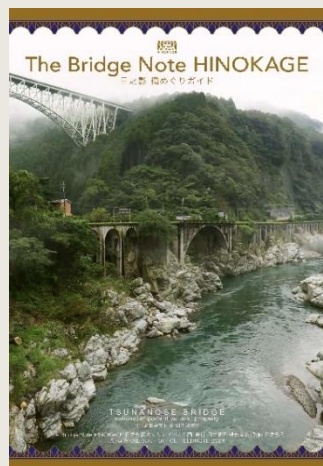
で橋の魅力を再発見！



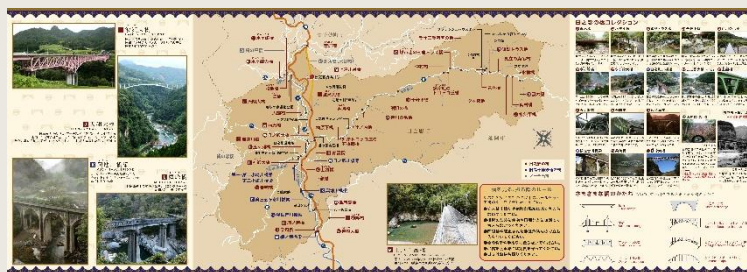
日之影町には、五ヶ瀬川や日之影川の清流に削られた深い渓谷があり、古くから数多くの橋が架けられてきました。今回、日之影町観光協会では、町内に架かる橋の魅力を多くの方に知ってもらおうと、町内全215の橋りょうのうち代表的なものを取りまとめた「日之影 橋めぐりガイドブック」を作成しました。

このガイドブックは、簡易版のリーフレット型と詳細版のブック型の2種類あり、橋の場所が一目で分かる全体マップと美しい橋の写真のほか、ブック版には橋の形状についての解説や、橋をより深く楽しむためのアドバイスなどが掲載されており、気軽に楽しみたいライト層から橋愛好家の方まで、幅広い方々に楽しんでいただける内容となっています。

これらは、日之影町役場や道の駅
青雲橋で無料配布していますので、
是非、手に取って御覧ください！



詳細な内容を記載したブック型ガイド



西日杵フェイスブック

「ウキウキ! 好き好き! ニシウスキ!」

発行／宮崎県 西臼杵支庁 編集／総務課
〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井22
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760



神話伝説の山里
「高千穂郷」通信

